

を行い、また、災害時には、県からの要請に基づき出動する。岐阜DMA T 隊員が災害現場で安心して活動するための保険料や、災害救助法が適用されない局地的災害の発生時に出動した際に執行される活動経費のほか、DMA T 連絡会議や研修会によりDMA T の連携強化や技能の向上に貢献するものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	158	連絡会議旅費
需用費	30	連絡会議消耗品費、会議費
役務費	3,996	保険料等
委託料	1,174	災害時のDMA T 活動経費、研修委託費等
その他	40	連絡会議会場借上料
合計	5,398	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

岐阜DMA T の活動が続く限り実施。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 DMAT 研修、連絡会議を開催し県内の災害拠点病院に整備されている岐阜 DMAT の連携体制と技能の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
① DMAT 研修、連絡会議等の開催回数	0 (H18)	5	5	5	5	0%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 ・MCLS（多数傷病者への対応標準化トレーニングコース） ※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施。 ※令和 3 年度事業は、10 月現在で未実施、今後実施予定
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和 5 年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和 6 年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	DMA T 隊員が災害現場で安心して活動するための保険料や活動経費の他、DMA T 連絡会議や研修会によりDMA T の連携強化や技能の向上に貢献するものであるため、その必要性は高いと思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	毎年度岐阜DMA T 研修を複数回実施し、県内の災害拠点病院の災害医療関係者の対応能力の向上を図ることができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	岐阜DMA T の連携機能及び体制の強化を目的として、連絡会議と研修を効率的に実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 過去に行った災害拠点病院の設備整備や広域医療搬送拠点の整備といったハード整備に併せて、これらをDMA T 隊員や災害医療関係者で運用できる体制を構築するため、継続的な訓練等を実施する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 災害派遣医療チームは、災害時の急性期を担う重要な組織体制であるため、今後も当該事業を継続していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】
--	-------